

令和元年度学校基本調査速報の公表について

文部科学省が毎年5月1日現在で実施している学校基本調査（統計法第2条第4項に規定する基幹統計）の本年度の調査結果について、別添のとおり和歌山県分の速報値を取りまとめましたのでお知らせします。

～小学校児童数・中学校生徒数が過去最低を更新～

小学校児童数は45,438人と前年度より591人（1.3%）減少し、昭和57年度から38年連続して減少が続き、過去最高時（昭和33年・139,708人）の32.5%となっています。中学校生徒数は23,795人と前年度より685人（2.8%）減少しており、平成22年度から10年連続で減少し、過去最高時（昭和37年・77,233人）の30.8%となっています。

また、幼稚園園児数や高等学校（全日制・定時制）、特別支援学校の生徒数も減少しています。幼稚園園児数は5,270人で、前年度より608人（10.3%）減少し、高等学校（全日制・定時制）の生徒数は25,524人で、前年度より965人（3.6%）減少しています。また、特別支援学校の生徒数は1,483人で前年度より1人（0.1%）減少しています。

～幼保連携型認定こども園の在園者、義務教育学校の児童生徒数が増加～

平成27年度から新たに調査対象となった幼保連携型認定こども園園児数は6,401人で、前年度より697人（12.2%）の増加となっています。また、平成29年度から調査対象となった義務教育学校の生徒数は703人で、前年度より4人（0.6%）の増加となっています。

～高等学校卒業者の大学等進学率（現役）は上昇～

高等学校（全日制・定時制）卒業者の大学等への進学率（現役）は、48.6%（平成31年3月卒業者）となっており、前年度より0.8ポイント上昇しています。一方で、卒業者に占める就職者の割合は、22.6%（平成31年3月卒業者）と、前年度より0.5ポイント低下しています。